

国立公園の管理体制

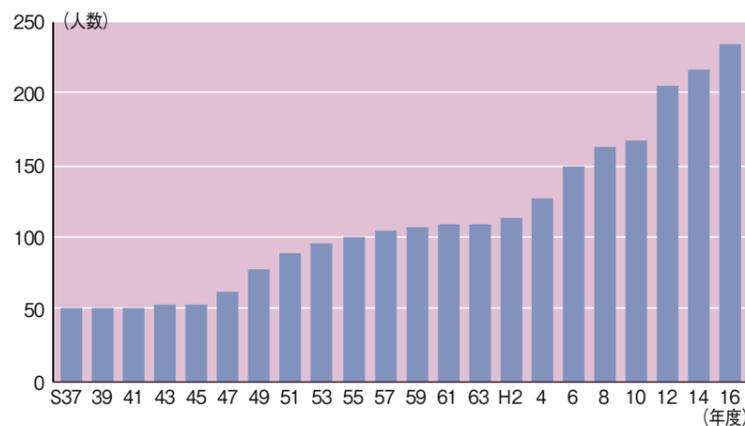
1 国立公園を支える人々

環境省では、本省においては自然環境局の国立公園課、自然環境整備担当参事官室、自然ふれあい推進室が、地方環境事務所においては通称レンジャーと呼ばれる自然保護官とアクティブレンジャーが公園の管理に携わっている。自然保

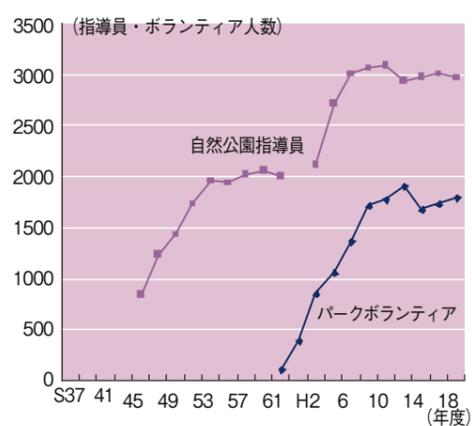
護官数は年々増加しており全国で約 260 名程度。また、地域住民を中心として多くの人が、自然公園指導員、パークボランティア、グリーンワーカー事業等に携わり、国立公園の管理運営を支えている。



自然保護官数の推移



国立公園指導員数・パークボランティアの推移



2 国立公園に関する環境省予算

環境省の国立公園関連の非公共事業予算額は増加傾向にあり、平成7年度～18年度までの間に約3倍に増加している。一方、公共事業費は非公共事業費の約10倍の規模を有するものの、平成12年をピークに減少傾向にある。

国立公園の保全整備・管理運営に投入される国の予算は、国民一人あたり約80円、国立公園利用者一人あたり約30円にすぎない。

国立公園の保護・管理に関する環境省予算概要(平成18年度)

項目	環境省の平成18年度予算における関係事項	
	予算の概要	額(万円)
保護管理の方策検討	保護管理に係る計画策定	国立公園計画の策定・管理計画の策定・やんばる国立公園指定計画策定等
	保護管理の方策の検討	景観法を活用した景観形成の推進・海域の保全方策検討・広範な関係者の参加による魅力的な国立公園づくり推進
普及啓発等	普及啓発	パークボランティア活動の推進・子どもパークレンジャー事業の実施・各種イベント開催、利用推進・エコツアーリズムの推進等
	利用者指導等	アクティブレンジャーの活用・自然公園指導員の活用
適正な利用の推進	利用施設の整備・維持	国所管施設の整備及び維持管理・施設整備計画地に係る調査(公共事業予算)等
	適正な利用環境の確保	知床・尾瀬・小笠原における利用適正化方策の検討・山岳トイレ等整備補助
自然環境保護	保護規制に伴う負担軽減	不許可処分に対する損失の補償
	生物多様性保全	指定動物の選定・外来生物対策の検討及び実施・シカ等の管理方策の検討
	自然再生	自然環境を再生・復元するための整備事業・自然再生事業の対象地域にかかる調査・自然再生の活動推進
保護管理全般	地域との協働による管理の実施	民間活動の推進・GW事業による清掃活動、歩道の管理、外来生物対策等の実施
合計		980,649

国立公園に関する非公共予算額の推移



国立公園に関する公共予算額の推移

